IIN
Workshop 報告 2025.6.21(土)

場所:クリエイトセンター101 号室
出席者数
会員　25 名、ゲスト 19 名　子供 3 名
付添家族 3 名

2025 年 6 月 21 日、
IIN 主催のワークショップがクリエイトセンターにて午後 2 時より開催されました。
当日は、書道、茶道、着物体験、日本の遊びをゲストの皆さまと共に楽しみました。
その時の様子を以下にご紹介いたします。ゲストは19人、子どもさん2人、付き添いご家族3人で賑やかに始まりました。

≪書道≫

私達書道グループのメンバー9 名は 12 時半に集合し、103 号室にて準備を始めました。

メンバーで机を配置、毛せんを敷いて道具を置き一通り用意ができたら、タイムスケジュールに沿って、基本的な筆運びの実演と英語説明などのリハーサルを行いました。今回、書道単独の部屋でしたので、開始時間まで何度も練習ができました。今回のワークショップでは、21 名のゲストを 3 グループに分け、1 グループ毎に各ワークショップ（他に茶道、着物の着付け、日本の遊び）を体験してもらうため、書道も 3 回のパフォーマンスを行いました。1 回 6～8 名でしたので、1 名につき 1 人のメンバーが付くことができ、きめ細かいサポートができたと思います。

今回用意した文字は「和」と「愛」でした。ゲストの皆さんはこの二つの漢字のうち一つを選び、その書き方を学び、色紙に清書し仕上げます。最初に基本の運筆の説明はしますが、いざ漢字の練習を始めるとなかなかうまくはいきません。書き順や文字の大きさ、線の太さなど各メンバーが個別にやさしく？指導していきました。色紙に清書する時はゲストの皆さん、緊張して書かれていましたが、失敗することなく一回で仕上げてくれました。

時間の制約もあり、落款の押印、ラッピングはメンバーのみで行いましたが、これをすることで作品が一段と映えることになりました。慌ただしくはありましたが、ゲストの皆さんと楽しい時間を共有することができました。
ゲストの皆さん、IIN メンバーの皆さん、ありがとうございました。

≪茶道≫

今回の茶道は「立礼式お手前」で行うことになりました。椅子に座ったまま茶の湯を楽しむことにしました。

淡々斎が 1952 年考案された点前で、外国人や、足が悪い方々も参加しやすいです。

今回、立礼の設えがわからず、知り合いの先生に相談をしたところ、もし、私でよろしければ、外国人の参加者のみなさんにお茶一服差し上げますとのことで、お願いしました。その先生のお稽古場に、フランス人の J さんが、お稽古に通っておられます。彼女も「私も一服差し上げたい！」とのことで、私としましては、思わぬ展開に少々迷いがありました。が、そのおかげで茶道班の手が少々あきますので、参加者のみなさんに「一期一会」の意味を説明しました。これを心にとめていただけたなら嬉しい！と思っております。

茶道は「お水屋」の仕事がたいへんです。茶道班の皆さんには最初から最後の片付けまで、きっちりして頂きました。

≪着付け≫

≪日本の遊び≫

3 つのグループがそれぞれタイムスケジュールよろしくスタートしました。今年は、「カルタ」と「他の遊び」（紙飛行機・コマの折り紙・けん玉・風車・ぶんぶんゴマ・パッチンミッキー等）を分けて、それぞれを十分に体験していただきました。

「カルタ」は英語で読み札を読むグループと、日本語で読むグループと、坊主めくりを用意しました。茨木郷土カルタ英語 Ver. 男性グループのお一人が以前に遊んだことがあるそうで、圧倒的に早く正しく札を取っていました。皆さんゲームになると真剣で、静かな競争心で取り組んでくださいました。女性グループ全員での「カルタ」やはり取り手が大勢の方が盛り上がります。日本語 Ver. 日本語教室の女性グループの人達に、上手に読む人もいらっしゃるので、次回は読み手にも参加していただき、日本語学習の成果を試していただこうという感想がありました。

紙飛行機、コマの折り紙もそれぞれ一緒に作りました。皆さん端と端を合わせるのも、ひとつひとつの作業が丁寧で、きれいな作品が完成。コマの途中から立体的な「蓮の花」をマレーシアの Naim さんが器用に折ってくれました。けん玉もコツを教わり繰り返しチャレンジ。女児 2 名、男児 1 名も、大人の遊び相手が大勢いて、楽しそうに走り回って遊んでいました。男性グループが順調に書道、着付け、茶道を体験され、25 分も早く、遊びのコーナーに到着。百人一首にも興味を持ってくださり、高校生の時に百首覚える(覚えさせられる？) ことに驚いていました。最後のグループ毎の紙飛行機飛ばし大会でも子どもから大人まで賑やかに楽しみました。

≪着付け≫

着付けグループは現在10 名が登録しています。着付けをする人とゲストを案内する人とワークショップ全体の世話をする人と役割分担しました。事前に着物の着付けを希望する人の人数がわかると着物と帯と小物等を準備します。今回は男性の浴衣と帯6名分、女性の着物と帯など12名分と浴衣と帯1セット、子供用の甚平さんを二人分用意し、着付けの練習もしました。当日は和室に着物と帯と小物をセットして、女性用着物は襟芯をいれ、好きな着物を選んでもらえるように並べておきます。着物を着せてあげるゲストの人は三つのグループにわけて、まず書道を先に終えた男性グループに浴衣を着せてあげ、子ども二人には甚平さんを着せてあげました。その後、女性グループの前半の6名に着付けをしてあげ、終わると後半の女性グループの6名の着付けをしてあげました。
その後ゲストの皆さんは着物でお茶席に入られて、日本の文化を体験されました。

＜着付け現場からの感想＞

・最初に男性に着せてあげた浴衣があまりにも小さすぎたので他の浴衣を試したら大きいサイズだったのでよかったです。帯結びも長さの調節が難しかったです。
・現場で体型に合わせてうまく着せて上げられるように日ごろからの練習が大事だと思いました。
・男性も女性も着物を楽しんでくれたようで私は嬉しかったです。
・特に今回は男性の人たちの凄く喜ばれているお顔を見て私も感動しました。あんなに喜んで下さると疲れも吹っ飛びます。
・幼い子供に着せてあげた甚平さん、可愛かったです。お父さんも嬉しそうでしたね。やっぱり人に着せてあげるのは難しいですね。頑張らなくちゃと思いました。
・今日はご一緒させていただき有難うございました！皆さんの技術にただただ脱帽です。いや流石だわー。
（てな仲間の声も）
・好きな色の着物を選んでもらい、着付けがだんだん出来上がってくるのをとても喜んでくれて、着付けが終わると鏡に映る自分の姿を見て、写真を撮っているのを見て、私たちも嬉しい気持ちで一杯になります。
・着付けをしながらおしゃべりをして外国の方と交流できて、楽しい一日を過ごすことができ、これからも私達の月一回の着付けの練習の励みになります。
・企画準備をして下さった役員さん、来てくださったゲストの皆さん、IIN 会員の皆さんの活躍等みんなが楽しめる行事に参加できて嬉しかったです。